

MITSUBISHI

9504R588HK7601

三菱パイプ用ファン(浴室・トイレ・洗面所用)

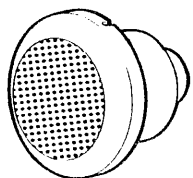
形名

V-08PPKD・V-08PPK₂・V-08PPC₂・V-08PPM
V-12PEC・V-12PSK₂・V-12PSKD₂・V-12PPKS₂
V-12PPM・V-12PSX

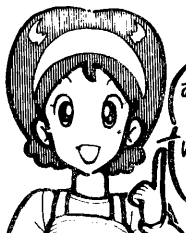
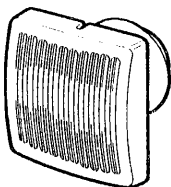
取付・取扱説明書

もくじ

PPMタイプ



Kタイプ



お読みになった後は、
お使いになる方が
いつでも見られる所に
保管してください。

ページ

1. 安全のために必ず守ること… 1～2
2. 各部のなまえ …… 2
3. システム部材 …… 2
4. 取付方法 …… 3～5
5. 使用方法 …… 6
6. お手入れのしかた …… 6
7. 仕様 …… 7
8. 修理を依頼される前に …… 8
9. アフターサービス …… 8

このたびは三菱パイプ用ファンをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取付・取扱説明書をよくお読みください。

なお、この説明書は保存しておいてください。ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役に立ちます。

■取付工事はお買い求めの販売店または、専門の工事店へご依頼ください。

■この製品の運転・停止にはシステム部材のコントロールスイッチまたは市販品のスイッチが必要です。

取付工事終了後は、お客さまにこの説明書を必ずお渡しください。

1. 安全のために必ず守ること

- 取付け前およびご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
- 表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。

警告	誤った取扱をしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
-----------	---------------------------------	-----------	------------------------------------

	禁止		水場での使用禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		接触禁止		アース線接続

警告	
	●内釜式風呂を据付けた浴室では使用しないでください。 (排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります)
	●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。 (火災・感電・けがの原因となります) 修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
	●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 (ショートや感電の恐れがあります)
	●アースが必要な場合はアースを確実に取付けてください。 (故障や漏電のときに感電することがあります) アースの取付けは販売店にご相談ください。
	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。 (感電やけがをすることがあります) ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。 (漏電した場合発火することがあります)

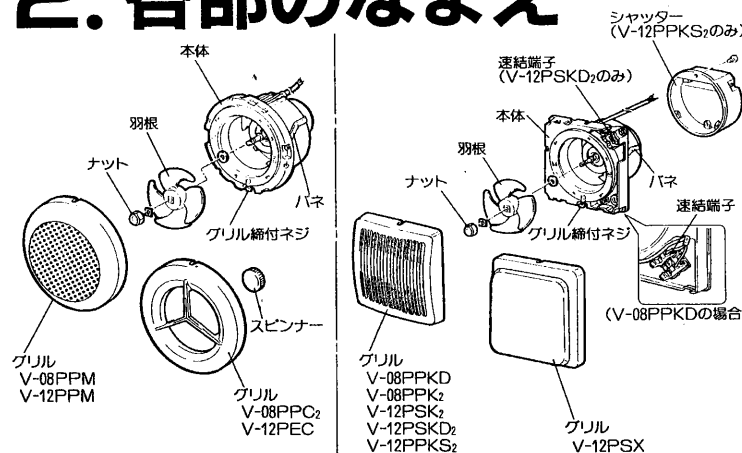
注意	
	●浴室内に壁スイッチを設けないでください。 (感電の恐れがあります) ●直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤のある場所には金属製以外の換気扇を使用しないでください。 (火災の恐れがあります) ●交流100V以外では使用しないでください。 (火災や感電の原因になります)
	●電気工事は必ず電気工事に依頼してください。 (誤った工事は、感電や火災の恐れがあります) ●お手入れ後の部品の取付けは確実に行ってください。 (落下によりけがをすることがあります) ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

1. 安全のために必ず守ること つづき

注意	
	●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。 (けがの恐れがあります)

お願い	
●高温(40℃以上)になるところに取付けしないでください。 (高温では、温度ヒューズが溶断して使えなくなります)	
●スプレーをかけないでください。 (グリルが破損することがあります)	
●取付け時、手袋の着用をおすすめします。 (板金部品でけがをすることがあります)	
●浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に取付けてください。	
●アルミスパイラルダクトへの取付けはしないでください。 (振動の原因になります)	
●V-12PPKS2の場合は天井面に取付けしないでください。	
●V-12PSXの場合は浴室の天井面に取付けしないでください。	

2. 各部のなまえ



付属部品

形名	本ネジ
V-08PPKD, V-08PPM, V-08PPC2, V-12PPM, V-12PEC	2本
V-08PPK2, V-12PSK2, V-12PSKD2, V-12PPKS2, V-12PSX	4本

適用パイプ

形名	パイプ
08タイプ	塩化ビニル管 (4番管・呼び径φ100) 鋼板管(内径φ100)
12タイプ	塩化ビニル管 (6番管・呼び径φ150) 鋼板管(内径φ150)

3. システム部材

形名など詳細についてはカタログを参照してください。

- 防火ダンパー、丸形フード(アルミ製、ステンレス製、防火ダンパー付)
- ベントキャップ(プラスチック製、アルミ製、ステンレス製)
- 深形フード(プラスチック製、アルミ製、ステンレス製)
- コントロールスイッチ、パイプスリーブ、耐外風高性能フード(防火ダンパー付)

4. 取付方法 (図はV-12PPMを示します。)

天井取付けの場合

野縁工事とパイプ配管

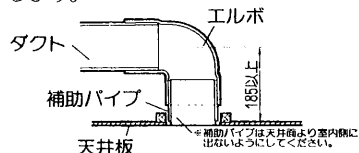
※V-12PPKS₂は天井、V-12PSXは浴室の天井には取付けできません。

1. 下図のように野縁工事をし、パイプ配管をします。

形名	A	B	C	D
08タイプ	4	φ100	□120	□180
12タイプ	6	φ150	□170	□230



2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはります。エルボと天井板の間は補助パイプを接続します。

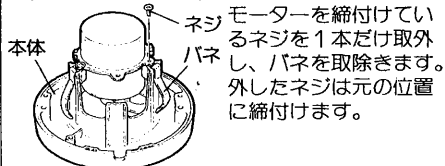


本体の取付け

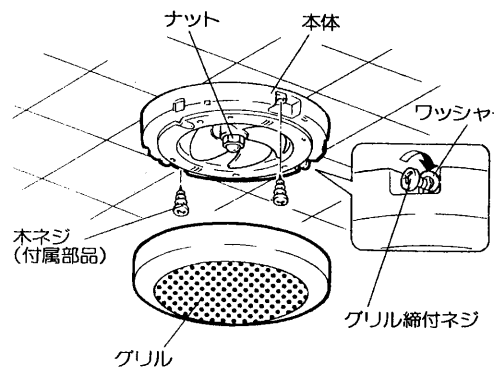
1. グリル締付ネジをゆるめてグリルを本体から外します。

2. パネ(1個)を取外します。

<08タイプの場合>



<12タイプの場合>



3. 本体をパイプに差込み付属の木ネジで天井面(野縁)に固定します。

4. グリルを本体に取付けます。

●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込み、ワッシャーをグリルの外側に当ててグリル締付ネジを締付け固定します。このとき壁との間隔が少ない場合は、ドライバーによる締付けができませんので注意してください。

5. 以上の工事が終わりましたら本体とグリルが天井面に確実に取付けられているか確認してください。

壁取付けの場合

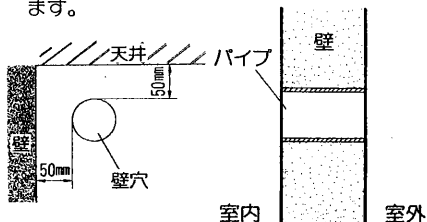
壁穴へのパイプの固定

■接続パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)管と厚肉(VP)管および鋼板管があります。必要に応じたパイプを用意してください。

■直接屋外に排気する場合、屋外に取付けるシステム部材(深形フードなど)のパイプ接続部と本体(V-12PPKS₂の場合シャッター含め)が当たらないようにパイプの長さを決めてください。

壁穴にパイプを差込み確実に固定します。

- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- パイプは室内壁面より出ないように差込みます。



本体の取付け

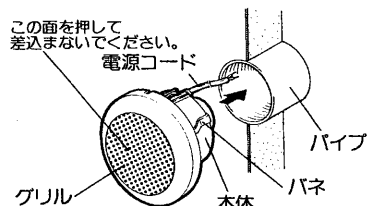
<パネにより固定する場合>

本体の上下(電源コードが上側)を確認してパイプに差込みます。パネにより固定されますのでこの場合は付属部品の木ネジは不用です。

お願い

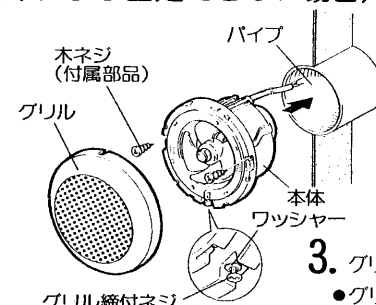
●本体とパイプのがたつきは製品の落下・振動の原因になりますので確実に固定してください。

[V-12PPKS₂の場合、シャッターが開いたとき電源コードが当たらないよう配線してください。]



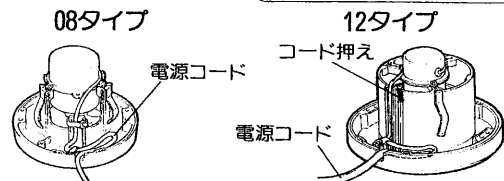
<がたつきがある場合やパネにより固定できない場合>

1. グリル締付ネジをゆるめてグリルを本体から外します。
2. 本体の上下を確認してパイプに差込み付属の木ネジで本体を壁に固定します。



<電源を屋内に設ける場合>

電源コードを図のようにコード押えを外して(12タイプのみ)本体内に押込んで取付けてください。



3. グリルを本体に取付けます。

●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込み、ワッシャーをグリルの外側に当ててグリル締付ネジを締付け固定します。

4. 以上の工事が終わりましたら本体とグリルが確実に取付けられているか確認してください。

電気工事

■電気配線は、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

- 電源は、屋外に設けてください。なお、システム部材の防火ダンパーを使用される場合は、内線規程に基づくコンセントを屋内に設けてください。
- 浴室に取付ける場合は、必ずアース工事を行ってください。(アース線をガス管、水道管などには絶対に接続しないでください。)
- 電源コードの接続は、2芯ビニルキャブタイヤケーブルを単相100V電源に接続します。

お願い

- 電源コードの長さは、サービス時本体がパイプから取外せるよう十分な長さにしてください。

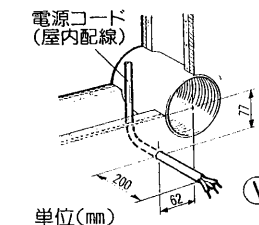
速結端子の電気工事 ……V-08PPKD・V-12PSKD₂の場合

本体取付と同時にを行う電気工事で、専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

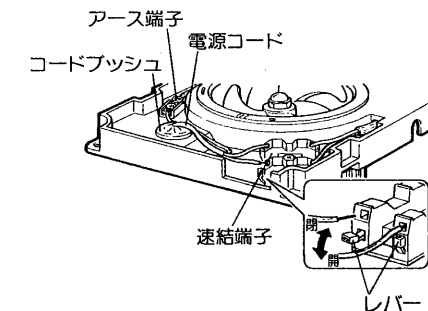
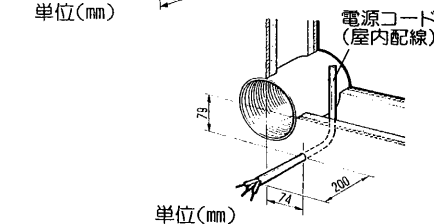
(適用電線 単線φ1.6VVF)

1. 電源コードを図の位置から室内に引込みます。
2. コードブッシュに電源コードを差込みながら本体を取付けます。
(本体の取付方法を参照ください。)
3. 電源コードの先端を約10mm皮むきして速結端子に接続します。オレンジ色のレバーを起こし、電源コード先端を差込み、レバーを戻して確実に接続してください。
4. アース線はアース端子にネジで接続してください。

V-08PPKDの場合



V-12PSKD₂の場合



お願い

- 浴室など湿気が多い場所に取付ける場合は、アース工事を必ず行ってください。
- 電源コードは本体面に密着させて配線してください。浮き上がるとグリルの取付けができません。
- 電源コードの皮むき部分は確実に速結端子に差込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源コードが速結端子に確実に固定されているか軽く引っ張って確認してください。

5. 使用方法

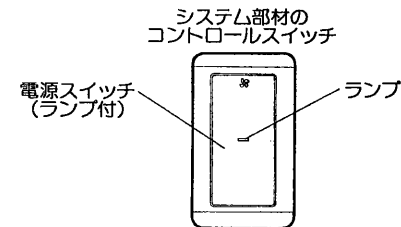
この製品はシステム部材のコントロールスイッチまたは市販のスイッチで操作してください。

■換気するには

電源スイッチの右側を押して「入」にします。
ランプが点灯します。

■止めるには

電源スイッチの左側を押して「切」にします。
ランプが消灯します。



上手な使いかた

- 入浴後、湯を落とすか浴槽に「ふた」をして約3時間換気扇を運転し、浴室を乾燥させます。
……結露・カビの発生を抑制して浴室保全に役立ちます。

6. お手入れのしかた

グリルの吸込口にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。
約3カ月に1度を目安としてグリルと羽根を清掃してください。

お手入れの際は……●必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。換気扇に通電された状態でお手入れをしないでください。
●指などけがをしないようゴム手袋の着用をおすすめします。

1. グリル締付ネジをゆるめて、グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げて外します。
2. ナット(スピナー)を右に回して外し、羽根を手前に引き出します。

お願い

- 羽根を取外すとき羽根の前後に固定用のワッシャーがありますのでなくさないようにご注意ください。
- 3. グリル・羽根は中性洗剤を溶したぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かしてください。
- 4. 取付けは取外しと逆の順序で行ってください。



お願い

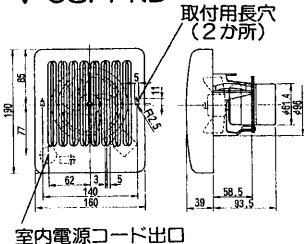
- お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。
(シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうじんの薬剤)

7. 仕様

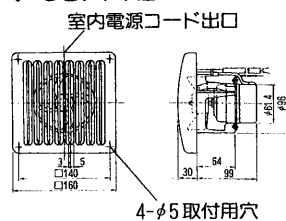
外形寸法図

〈単位mm〉

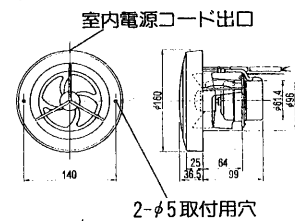
V-08PPKD



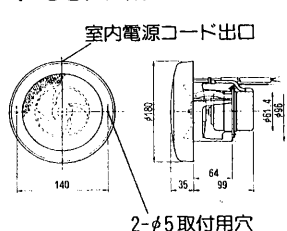
V-08PPK₂



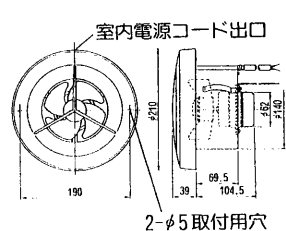
V-08PPC₂



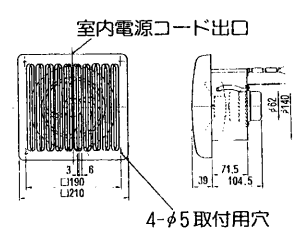
V-08PPM



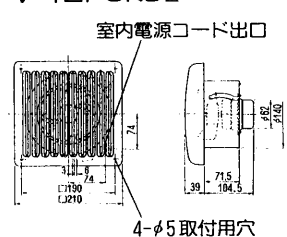
V-12PEC



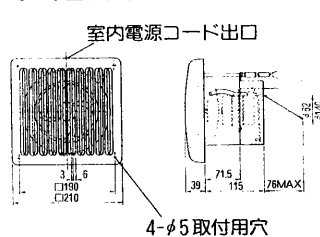
V-12PSK₂



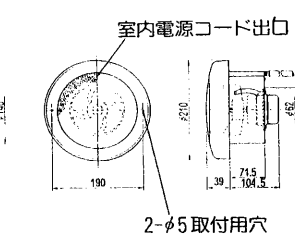
V-12PSKD₂



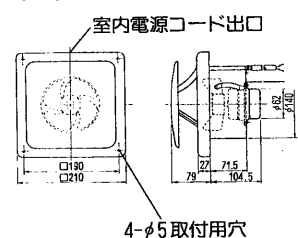
V-12PPKS₂



V-12PPM



V-12PSX



仕様

形名	消費電力(W)		風量(m ³ /h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-08PPKD	2.9	3.0	81	93	32.0	35.0	0.8
V-08PPK ₂	2.9	3.0	81	93	32.0	35.0	0.8
V-08PPC ₂	3.3	3.6	87	102	33.0	36.0	0.8
V-08PPM	2.9	3.0	81	93	31.0	34.0	0.85
V-12PEC	3.9	4.5	178	174	30.0	29.5	1.0
V-12PSK ₂	2.9	3.3	135	145	33.0	35.0	1.1
V-12PSKD ₂	2.9	3.3	135	145	33.0	35.0	1.0
V-12PPKS ₂	4.2	4.8	145	165	36.0	38.5	1.1
V-12PPM	4.2	4.8	150	170	34.0	36.5	1.1
V-12PSX	2.9	3.3	130	143	35.0	36.5	1.2

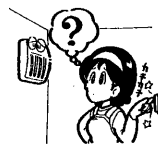
*特性はJIS C 9603に基づく開放騒音値です。

*騒音値は無響室での測定ですので実取付状態では反響音を含むため高くなります。

8. 修理を依頼される前に

このような症状があれば点検してください。

スイッチを入れても羽根が回転しない。
 運転中に異常音や振動がある。
 グリルが外れかけている。(傾いている)



ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか？
 または停電ではありませんか？



グリルが確実に本体に取付いていますか？
 グリル締付ネジがゆるんでいませんか？



グリル締付ネジに不具合はありませんか？

点検・
処置をしても
直らない
ときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。
 費用については販売店とご相談ください。

9. アフターサービス

三菱パイプ用ファンのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申しつけください。
 なお、おわかりにならないときは、当社のご相談窓口（取扱説明書同封一覧表の最寄りの三菱電機お客さま相談窓口）にお問い合わせください。

■補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
 この期間は通商産業省の指導によるものです。
 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

